

地域経済と会員事業所の繁栄  
景気回復が実感できる年に！



会頭 福田 勝之

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。新年にあたり、新潟経済のさらなる発展のため尽力してまいりたいと決意を新たにしているところでございます。

我が国経済は回復を続けておりますが、地方の中小企業においては、業況こそ改善傾向にあるものの、幅広い業種で人手不足が進み、労務費や原材料費といったコスト増などの影響もあって、企業収益の改善の動きは弱く、景気回復を実感できるまでに至らない状況にあります。

国は、経済最優先の改革を進める方針の下、生産性革命と人づくり革命を両輪とし、少子高齢化に立ち向かう政策を掲げています。今後、中小・小規模事業者の生産性向上に向けた投資の拡大など、実効性のある支援策により、地域経済がより一層活性化することを願っております。

当所としても中小企業・小規模事業者のICT活用による生産性向上に向けた取り組みや、海外展開も視野に入れた市場開拓・販売促進のための各種展示会への出展等を支援してまいります。また、円滑な事業承継に向け個別相談や後継者育成支援など、きめ細かな対応により地域企業の活力強化に努めてまいります。

また、まちづくり関連では、中心市街地の魅力発信と賑わい創出のため、「新潟まつり」や「いがた総おどり」など、様々なイベントを実施するとともに、新潟が誇る歴史文化の象徴である「古町芸妓」の育成支援にも引き続き力を注いでまい

ります。

特に古町地区に関しては、同地区への行政機能移転を契機に、昨年より新潟市や地元商店街と連携して、さらなる活性化に向けた調査・検討を進めており、今年も調査結果に基づく機能配置や創業支援、空き店舗活用など、賑わい創出事業の強化に取り組んでまいります。

連続立体交差事業が進められている新潟駅周辺整備については、新潟の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりを目指し、万代広場の有効活用、観光案内所の機能強化、新潟駅周辺の景観のあり方などについて調査研究し、行政や関係機関に有効な提言活動を行いたいと考えております。

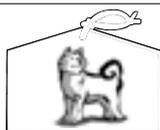
新潟の拠点性向上においては、2019年の新潟開港150周年に向けた記念事業の成功を目指し、関係機関と連携を図りながら、みなとまち新潟のイメージ定着に向け、大型クルーズ船誘致活動などに積極的に取り組んでまいります。さらに、新潟空港に関しては、インバウンドが見込まれる台北線などの路線拡充や、今年3月から就航が決定しているピーチ・アビエーションの他にも、新たなLCC路線の誘致等に向け、官民一体となった戦略的エアポートセールスを展開してまいります。

観光振興の面では、佐渡金銀山世界遺産登録に向けた国内推薦を、4年目の今年こそ実現させるため、関係団体と協力して県内外での啓発イベントや講演会、視察見学等を実施するとともに、産学官金が一体となって、新潟市の交流・定住人口拡大のための事業を積極的に進めてまいります。

さらに会員増強運動は、皆様からのお力添えもあり、昨年末現在で4471事業所を数えております。目標の会員5000事業所に向けて、本年も引き続き一層のご協力を賜りますようよりしくお願いいたします。

結びに、会員の皆様のご健勝と事業の一層のご繁栄を祈念して、年頭のご挨拶といたします。

賀 正



新年紙上名刺交換

(新潟商工会議所関係は会社名五十音順)

株式会社 ウオロクホールディングス 代表取締役社長 <b>本多 伸一</b>	株式会社 ウオシヨク 代表取締役社長 <b>宇尾野 隆</b>	一正蒲鉾株式会社 代表取締役社長 <b>野崎 正博</b>	株式会社 イタリア軒 代表取締役 <b>岡田 茂久</b>	株式会社 池田看板 代表取締役会長 <b>池田 洋子</b>	池経理事務所 税理士 <b>池 淳一</b>	アクサ生命保険株式会社 新潟支社長 <b>長岡 信介</b>	日本商工会議所 会 頭 <b>三村 明夫</b>
株式会社 加賀田組 代表取締役社長 <b>市村 稿</b>	株式会社 大橋商会 代表取締役 <b>大橋 崇</b>	遠藤鋼機株式会社 代表取締役 <b>遠藤 聡一</b>	株式会社 NSホールディングス (新潟日産・日産サテイト新潟) 相談役 代表取締役 <b>上原 明</b> 代表取締役 <b>上原 洋明</b>	NNET 代表取締役社長 <b>大橋 武紀</b>	NSGグループ 代表 <b>池田 弘</b>	株式会社 S・U建築設計 会 長 <b>角南 邦彦</b>	ANAクラウンプラザホテル新潟 総支配人 <b>下山 徹哉</b>

新春のごあいさつ



新潟県知事 米山 隆一

平成30年の年頭に  
当たり、謹んで新春  
のごあいさつを申し  
上げます。

平成28年10月の知  
事就任から1年余り  
が経ちました。この

間、多くの皆様からお力添えをいただき、県政を前  
に進めることができました。改めて知事としての職  
責の重さを実感するとともに、非常に大きなやりが  
いを感じています。

本年は、就任時に約束いたしました「県民の命と  
暮らしを守り、現在と未来への責任を果たす」県政  
の実現に向け踏み出した歩みを、着実に前へ進めて  
まいります。

県政の最重要課題である人口減少問題への対策に、  
より一層力を入れて政策を推進し、新潟県が、子育  
てしやすく、暮らしやすく、学びやすく、そして働  
きやすい、総合的に魅力ある、人々に選ばれる地と  
して、持続的に発展していけるよう、県政のあらゆる  
分野での取組を総動員し、全力を挙げて取り組ん  
でまいります。

さて、本年3月にはピーチアビエーション株式会  
社が、新潟空港と関西国際空港を結ぶ路線を開設い  
たします。また、4月には新潟駅連続立体交差事業  
の第1期開業が予定されており、空と陸の玄関口で、  
本県に人を呼び込む態勢の整備が進んでまいります。

平成31年には新潟港開港150周年記念や、デス  
ティネーションキャンペーンの実施など、新潟をア  
ピールする機会が多くありますので、引き続き新潟  
の魅力発信に御協力をお願い申し上げます。

皆様のご健勝と貴会議所の益々のご発展をお祈り  
申し上げます、新年のごあいさつといたします。

新潟開港150周年に向けて



新潟市長 篠田 昭

謹んで新年のお慶  
びを申し上げます。  
貴会議所におかれ  
ましては、日頃より、  
本市の商工業の振興  
と市政運営に対し、  
ご支援とご協力を賜

り厚くお礼申し上げます。

さて、新潟港が、開港五港の一つとして世界に開  
かれてから、2019年1月1日で150周年を迎  
えます。今年7月に開催する「海フェスタにいがた」  
を皮切りに、記念事業の盛り上げ期間がスタートす  
るなど、今年は大きな節目を迎えることとなります。

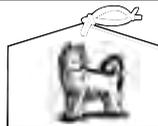
このタイミングを、新しい新潟を切り拓き、さ  
らに発展していくための絶好の機会と捉えていま  
す。港湾管理者である新潟県、開港時の補助港で  
あった夷湊（現両津港）を持つ佐渡市、新潟東港  
を共有する聖籠町と本市を中心に、貴会議所をは  
じめ経済界など幅広い分野から多くの関係者の参  
画を得て、文化、観光、経済の好循環をオール新  
潟体制で実現していきたいと考えています。

また、今年も、新潟のまちづくりにとっても大き  
な節目となります。現在、工事を進めている新潟駅  
周辺の連続立体交差事業は、今年の4月に同一ホー  
ムで新幹線と在来線が乗り換えできるようになりま  
す。これを新潟駅高架化の第一期開業と位置付け、  
駅周辺のまちづくりを加速させていきます。

開港150周年の盛り上げと、新潟駅第一期開業の効  
果を最大限に引き出し、新潟の魅力を全国、そして世界に  
発信し、地域の活性化や交流拡大につなげていきます。

皆さまのますますのご発展と、貴会議所のさらなる  
飛躍の年となることを期待いたしまして、新年の  
ごあいさつといたします。

賀 正



新年紙上名刺交換

(新潟商工会議所関係は会社名五十音順)

<p>鹿島建設株式会社北陸支店 常務執行役員支店長</p> <p>河本 克正</p>	<p>株式会社 加島屋 代表取締役</p> <p>加島 長八</p>	<p>金井度量衡株式会社 会 長</p> <p>金井 哲郎 金井 利郎</p>	<p>株式会社 金田塗装工業 代表取締役 会 長</p> <p>金田 文蔵 金田 真人</p>	<p>神山物産株式会社 代表取締役社長</p> <p>佐藤 友紀</p>	<p>株式会社 キタコ 代表取締役社長</p> <p>中山 正子</p>	<p>株式会社 北村製作所 取締役社長</p> <p>北村 泰作</p>	<p>株式会社 木山産業株式会社 代表取締役 会 長</p> <p>木山 全一 木山 光</p>
<p>株式会社 清野屋 代表取締役社長</p> <p>清野 雅士</p>	<p>株式会社 クオリス 取締役会長</p> <p>田中久美子 代表取締役 田中 健一</p>	<p>久住電気株式会社 代表取締役社長</p> <p>久住 健</p>	<p>株式会社 栗山米菓 相談役</p> <p>栗山 清 栗山 敏昭</p>	<p>コニカミノルタNC株式会社 会 長</p> <p>馬場 伸行</p>	<p>株式会社 コメリ 代表取締役社長</p> <p>捧 雄一郎</p>	<p>株式会社 権平工作所 代表取締役社長</p> <p>権平 敬一</p>	<p>佐藤食品工業株式会社 代表取締役社長</p> <p>佐藤 元</p>

平成30年 年頭所感



日本商工会議所 会頭 三村 明夫

明けましておめでとうございます。平成30年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。

日本商工会議所会頭として5回目のの新年を迎えました。各地商工会議所の皆様におかれましては、日頃から当所事業に一方ならぬご支援・ご協力を賜り、年頭にあたり厚くお礼申し上げます。

さて、西暦で下一桁が7の年は、過去に金融に関わる大きな危機が訪れたこともありましたが、昨年の世界経済は、米国の経済が堅調に推移し、欧州も緩やかに回復、中国では高成長から安定成長へと軟着陸に向かつており、全体的に当初の予想を上回る安定した動きとなりました。わが国経済も、潜在成長率が回復したとはいえまだ1%程度の実力の割には健闘しました。しかし持続的な成長に向けて構造改革の推進とサプライサイド政策の実行がますます重要になっております。

一方で、企業を取り巻く環境は、TPP11の大筋合意や世界の貿易量の急速な回復など明るい話題が

あるものの、北朝鮮問題、米国の保護主義的な政策、BREXITの動きなど、先行きの不透明感も大きくなっておりあります。日本国内では、人手不足の顕在化が、賃金の上昇にも影響を及ぼし、また、多くの中小企業における経営者の高齢化、地方経済の疲弊など、経営者の悩みは尽きなかったのではないのでしょうか。

このように不確実なことが多く、変化のスピードが速い時代の中では、民間企業の経営者の役割がますます重要となっており、各々の経営者が「企業は何のために、誰のためにあるのか」を考え、その中で具体的にどう行動するべきかが問われています。今年には明治維新から150年、また、東京、大阪、神戸の三つの商工会議所が設立140周年を迎える年でもあり、自らの企業経営のあり方を振り返る好機でありましょう。

日本の資本主義と民間企業の発展に多大な貢献を果たした渋沢栄一翁は、「論語と算盤」を著し、「道徳経済合一説」という理念の中で倫理と利益の両立を掲げております。その理念は商工会議所の精神的な支柱として、現代に受け継がれております。経営者の皆様には、是非とも渋沢翁の理念を自らの経営にどう活かすのか、改めて考えていただきたいと思っております。

さて、大きな時代の変化の中で、平成30年を迎えるにあたり、われわれ商工会議所が取り組むべき課題は山積しておりますが、私といたし

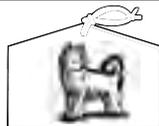
ましては、「中小企業の課題解決が日本経済の成長に直結するものである」との信念のもと、以下のような課題に重点をおいて取り組んでいきたいと考えております。

1点目は、「人手不足の克服」です。深刻化する人手不足は、特に中小企業で顕著であり、およそ6割の企業が人手不足を訴え、この先もますます深刻化することが確実です。わが国における人手不足解消のためには、女性、高齢者、外国人などの多様な人材の活用とともに、ICTなどを活用した生産性の向上が不可欠です。商工会議所としては、会員企業への支援に必要な施策を政府の各種会議などで要請していくとともに、支援事業の実施に取り組んでいきます。また外国人材のさらなる活用についても、時代に応じた抜本的な見直しを訴えていく所存です。

2点目は、「事業承継」への取り組みです。昨年は、事業承継税制の抜本拡充を求める「推進大会」を開催するなど、全国の商工会議所の総力を挙げて、政府・与党へ働きかけた結果、平成30年度税制改正において、商工会議所の意見が多く盛り込まれた形で、事業承継税制の抜本拡充が実現しました。改めて税制改正の実現にご協力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。中小企業の事業承継は、単なる相続の問題ではなく、世代交代による中小企業の活性化、生産性向上、地方創生など、わが国経済の成長に関わる大変

新年紙上名刺交換

(新潟商工会議所関係は会社名五十音順)



賀 正

三和商事株式会社 代表取締役 <b>水本 孝夫</b>	株式会社 シアンス 代表取締役社長 <b>野口 一則</b>	事業創造大学院大学 学長 <b>仙石 正和</b>	澁井鋼材株式会社 代表取締役社長 <b>澁井 信之</b>	株式会社 ジャパンネット 代表取締役 <b>山本 和則</b>	株式会社 シルバーホテル 代表取締役専務 総支配人 <b>河村 多克</b>	医療法人 新成医会 理事長 <b>渡邊 毅</b>	株式会社 新宣 取締役社長 <b>加藤 竜司</b>
新日本海フェリー株式会社新潟支店 取締役支店長 <b>小向 秀治</b>	セコム上信越株式会社 代表取締役 代表取締役社長 <b>野沢 慎吾</b> 代表取締役社長 <b>竹田 正弘</b>	双峰通信工業株式会社 代表取締役 <b>樋口 正仁</b>	株式会社 第一印刷所 代表取締役社長 <b>堀 一</b>	第一建設工業株式会社 代表取締役社長 <b>高木 言芳</b>	大市繊維品株式会社 取締役社長 <b>大塚 善紀</b>	第一電設工業株式会社 代表取締役社長 <b>吉田 徳治</b>	大成建設株式会社北信越支店 支店長 <b>西岡 巖</b>

重要な課題であります。今後5年間で団塊世代の経営者30万人が70歳に到達する「大企業承継時代」を迎える中で、商工会議所として、事業承継税制をはじめ、国の施策をフル活用し、わが国経済を支える中小企業の円滑な事業承継を後押ししていく必要がありますので、引き続き、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

3点目は、「地方創生」への取り組みです。第一次産業の活性化、およびインバウンドのみならず国内観光を含めた観光振興による地域・地方の活性化に引き続き取り組みます。さらに、2020年オリンピック・パラリンピックは、わが国の魅力の世界にアピールする絶好の機会であり、招致から続けてきた大会成功に向けての取り組みは、商工会議所の使命の一つと捉えております。加えて、大阪・関西における2025

特集1

恒例により、各部会長・委員長、女性会長の皆様から、新年の抱負などを寄稿いただきました！  
(順不同・敬称略)

年頭のご挨拶



商業部会長  
和田 晋弥

新年おめでとうございます。会員の皆様には益々ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨今の日本経済は「緩やかな回復基調」といった表現で語られることが多くなりましたが、個人消費が活発になり、それが企業の業績を押し上げるという経済の好循環が着実に回り始めることを期待します。

来年以降は、新潟港開港150周年、消費増税、東京オリ

年国際博覧会の誘致も強力に進めていくことが重要であります。平成30年は、上述の課題を解決・克服していくための1年にしたいと考えております。「未来を拓く商工会議所」として、日本商工会議所では、全国515商工会議所、青年部、女性会などの連携をさらに強化し、企業、地域、ひいては日本経済の持続成長の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

ピックアップランピックなど、大きなトピックが目白押しです。時代や社会構造の変化にも機敏に対応しながら、「ヒト」「モノ」「カネ」が大きく動くチャンスを生機として活かすことが出来るよう、時宜を得た部会活動を展開していく所存です。地域経済の更なる発展に向けて、皆様とともに前進してまいりたいと考えておりますので、本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

昨年を振り返って



工業部会長  
澁井 信之

新年あけましておめでとうご

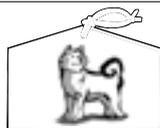
ざいます。昨年は、新潟にとつて、非常に残念なことが多い1年でした。まずはアルビレックス新潟のJ2への降格。私自身は熱狂的なサポーターというわけではありませんが、14年間もJ1の舞台で戦っていたので、当たり前になっていったものを失う悲しみを感じます。今年は発足当時の頃のように、選手と新潟のサポーターがひとつになつて、またJ1へ返り咲いてもらいたいのです。

また、佐渡金銀山の世界遺産登録推薦候補の選定見送り。やはり新潟の観光の目玉として、世界遺産があるのとないのでは大違いですから、今年こそは推薦候補となつて、大勢の人に、新潟、そして佐渡の素晴らしさを知ってほしいです。

昨年の工業部会は、部会員の皆様のおかげで、非常に充実した部会活動を行うことができました。

新年紙上名刺交換

(新潟商工会議所関係は会社名五十音順)



賀正

株式会社 高助 代表取締役社長 <b>高橋 秀松</b>	株式会社 たかだ 代表取締役社長 <b>高田 政俊</b>	中央ビルディング株式会社 代表取締役社長 富山 修一 専務取締役 富山 聡仁	敦井産業株式会社 取締役社長 <b>敦井 一友</b>	株式会社 テレビ新潟放送網 代表取締役社長 <b>務台 昭彦</b>	東京海上日動火災保険株式会社 新潟支店長 <b>原田 清</b>	東光商事株式会社 代表取締役 <b>片岡 龍郎</b>	東邦産業株式会社 代表取締役社長 <b>五十嵐 祐司</b>
東北電力株式会社 上席執行役員新潟支店長 <b>武田 眞二</b>	東北塗装工業株式会社 代表取締役 <b>若山 良夫</b>	豊田通商株式会社 新潟支店長 <b>別府 幸典</b>	株式会社 中野組本店 代表取締役社長 <b>中野 進</b>	株式会社 ナビック 取締役社長 <b>上原 敦</b>	ナミックス株式会社 代表取締役社長 <b>小田嶋 壽信</b>	新潟医療福祉大学 学長 <b>山本 正治</b>	新潟運輸株式会社 代表取締役 統括会長 佐藤 実 代表取締役 山田 博義

した。鹿児島・熊本の視察旅行では飛行機が飛ばないというアクシデントもありましたが、皆様の協力のお蔭で楽しく充実した視察旅行となりました。

今年も、部会員の皆様からの要望を、可能な限り反映した部会運営をしていきたいと考えています。部会員の皆様、今年もよろしくお願ひいたします。

歴史と魅力を感じてもらおう年に



建設・不動産部会長  
本間 達郎

皆様、新年明けましておめでとうございます。新潟は湊町として栄え歴史を築いてきました。旧新潟税関近くにある湊稲荷神社に建立された新潟市指定第一号有形民俗文化財の「願掛け高麗犬」や、入船地蔵尊に保存されている新潟市民文化遺産に認定された新潟島で最も古いと称された石仏地蔵、千体仏の由来を紐解くと、北前船が往来し多くの人々の願いや信仰を通じて築かれた湊町新潟の風情に触れることができます。

今年、平成30年という節目の年に「海フェスタにいがた」が開催され、来年「開港150年」を迎え、記念事業には国内外から多くの方々の往来が予想され

ます。

日本海側の拠点としての港湾、鉄道、高速道路、空港の優位性や、豊かな自然、食、人間性など持つている新潟の魅力を知っていただく契機と捉え、部会員一同、魅力の発信に努めてまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

年頭ご挨拶



金融業部会長  
並木 富士雄

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

国内景気は、企業業績の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いております。政府も、デフレ脱却を確実なものとし、中長期的な成長を実現するため、昨年6月に「未来投資戦略」を決定し、第4次産業革命といわれるIoTやビッグデータなどの活用を柱とした成長戦略を推し進めています。私ども金融機関といたしましても、コンサルティング機能を発揮し、県内企業の皆様のIT技術の活用による生産性の向上や新たな需要創出へのご支援な

をを通じ、地域経済の発展に貢献することを目指してまいります。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

輸送業界の課題解決に向けて



輸送業部会長  
高橋 浩

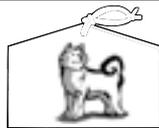
新年あけましておめでとうございます。

昨年、輸送業部会では、自動車運転技術が引き起こす産業と社会の大変革について、これからどんな変化が起こるのか、そうした変革期にどう備えるべきなのかを学ぶ講演会を開催しました。

また、ロボットと人が車づくりをしている『三菱自動車工業・岡崎工場』や、高速鉄道技術の進歩を紹介する『リニア・鉄道館』などを見学する視察見学会を開催し、近代のものづくりや歴史を学びました。

本年も輸送業界において重要な課題となつていいる人材確保や生産性向上といった問題を、少しでも解決できるようなテーマに積極的に取り組む、部会員の皆様の経営に役立つような活動を展開してまいります。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

賀 正



新年紙上名刺交換  
(新潟商工会議所関係は会社名五十音順)

<p>株式会社 新潟計量システム 代表取締役</p> <p>大平 岳男</p>	<p>一般社団法人 新潟県銀行協会 会長</p> <p>並木富士雄</p>	<p>新潟県信用組合 理事長</p> <p>長谷川 了</p>	<p>新潟県信用保証協会 会長</p> <p>坂井 康一</p>	<p>株式会社 新潟ケンベイ 代表取締役社長</p> <p>山崎 正敏</p>	<p>新潟交通株式会社 代表取締役社長</p> <p>星野 佳人</p>	<p>新潟国際情報大学 理事長 星野 元 学 長 平山 征夫</p> <p>新潟サンリン株式会社 取締役社長</p> <p>高橋 欣一</p>	<p>新潟信用金庫 会長</p> <p>阿部 隆</p>	<p>学校法人 新潟青陵学園 理事長</p> <p>関 昭一</p>	<p>株式会社 新潟関屋自動車学校 代表取締役社長</p> <p>綿井 伸行</p>	<p>新潟総合警備保障株式会社 取締役 廣田 靖夫 取締役 廣田 幹人</p> <p>新潟中央水産市場株式会社 代表取締役</p> <p>藤田 普</p>	<p>新潟中央青果株式会社 代表取締役 小出 佐治 代表取締役 大澤 厚志</p> <p>株式会社 新潟テレビ21 代表取締役社長</p> <p>栞原 美樹</p>	<p>株式会社 新潟日報社 代表取締役社長</p> <p>小田 敏三</p>
---	---	-------------------------------------	--------------------------------------	---	--	---	----------------------------------	--	--	---	--	--

2018年の年頭に当たって



観光業部会長  
星野 佳人

新年明けましておめでとうございませう。

昨年、『金を中心とする佐渡鉱山の遺産群』の世界遺産登録に向け官民一体となって取り組みましたが、残念ながら国内推薦見送りとなりました。世界遺産登録は県の観光にとって悲願でもあります。ここで諦めることなく引き続き登録実現にむけて取り組んでいく所存です。

一方、外国人インバウンドについて、昨今は地方ツアーや体験型ツアーが人気を博すなど消費行動に変化がみられ、新潟県に誘客する余地は充分残されています。この実現には官・民一体となった取り組みが必要と考えておりますので、当部会としてしっかり役割を果たしてまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

2018年年頭に当たって



情報サービス業部会長  
野沢 慎吾

新年明けましておめでとうございませう。

会員の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は当部会において、セミナーや視察見学を開催し、多くの方から好評を得ました。

AIやIoTなどの技術革新テーマが毎日のように飛び交う中、人口減少問題も相俟って、これからの各企業のあり方や新潟県の経済も大きな変化を余儀なくされる時代と感じます。

こうした時代の変化に機敏に対応するためには、官民一体となった活動が益々重要であり、商工会議所の役割も増すものと思っております。

当情報・サービス業部会として、ましても、こうした認識に立ち、より一層地域全体が真に潤い、活性化に資する活動を従来以上に展開していく所存であります。結びに、会員の皆様のご発展を祈念し、年頭の挨拶とします。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2018年の年頭に当たって



教育福祉医療部会長  
渡邊 毅

新年明けましておめでとうございませう。本年も教育福祉医療部会をよろしくお願ひ申し上げます。

本格的な少子高齢化時代が到来しておりますが、私たちは時代に適合した価値観やビジネスモデルを未だ獲得できずにあります。

一方で世界には人口爆発や食糧難が深刻さを増している国々があり、地球規模で私たちはパラダイムシフトを迫られていると云えるでしょう。

教育・福祉・医療は、次代を担う青・少年層に深く係る分野です。社会資本はどうあるべきかという議論と共に、そのあり方に私たちは結論を出していかなければなりません。

個性的であると同時に世界標準と成り得る仕事を目標として、今年も商工会議所会員の皆様と共に、いっそうの研鑽を積んでいきたいと思ひます。

2017年の女性会の活動



女性会会長  
田中 久美子

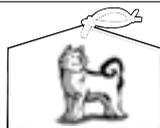
会長に就任し2年目に入りました。就任時、多くの会員の方々に「協力するから」と力強い言葉をいただきました。協力とは参加していただくことが第一です。その為に魅力ある活動として120名が各委員会で頑張っております。

東京研修での日本商工会議所

新年紙上名刺交換

(新潟商工会議所関係は会社名五十音順)

賀 正



株式会社 新潟博報堂 代表取締役社長 山田 眞	新潟万代島ビルディング株式会社 代表取締役 島内 眞	株式会社 新潟ビルサービス 代表取締役 鈴木 英介	株式会社 新潟フジカラー 代表取締役社長 村山 利家	新潟冷蔵株式会社 代表取締役 中田 邦彦	日産プリンス新潟販売株式会社 代表取締役 坪川 篤	日本通運株式会社 新潟支店長 町田 一越	日本海エル・エヌ・ジー株式会社 取締役社長 高橋 浩	八島 進
株式会社 ハヤマ 代表取締役 早山 康之	株式会社 BSNアイネット 代表取締役社長 梅津 雅之	株式会社 福田組 代表取締役 福田 勝之	福田道路株式会社 代表取締役社長 河江 芳久	藤木鉄工株式会社 代表取締役社長 熊倉 吉一	株式会社 フジ・クリエイティブセンター 代表取締役 関口 一栄	藤田金属株式会社 代表取締役社長 今井 幹文	社会保険労務士法人ふじた事務所 代表社員 藤田 英樹	早山 康之 早山 康弘

の青山理事の熱のこもったお話を伺い、明治の初め不平等条約改正の為、商工会議所が世論の代表機関として、国会よりも先につくられたという歴史ある経済団体であることを強く認識いたしました。

消防署による救急救命講習では、救急車の到着が平均9分の現実を知り講習の大切さを思いました。

これからも、全女連、県内女性会でも学び合い、女性ならではの感性を発揮し、商工会議所の一翼を担うべく研鑽してまいります。

街なかに活気を

総務委員長  
富山 修一



少子高齢化が叫ばれている昨今ですが、新潟市の人口は政府の想定した人口減少数よりも大幅に少なく、中央区と東区に至っては人口増となっております。これは10年前に当商工会議所が中心となり推進して出来た政令指定都市という引力のたまものだと思っています。

しかし、その事に甘えず交流人口をいかに増やすのが新潟市の経済発展の要だと思っています。古くから湊町として栄えた我が街は「おもてなし」に通

ずるDNAを皆さんの心の中にお持ちのほずです。大和跡地の再開発というチャンスをとくに街なかに賑わいを再び創り出し、このようではありませんか。その為にも総務委員会はパワーアップ5000委員会をバックアップし新潟商工会議所の発言力を高めていきたいと思っております。

本年も5000会員を目指して



池田 洋子  
推進委員長

明けておめでとうございませう。本年も会員増強運動「お一人1社のご紹介」をよろしく願います。

昨今では、情報収集の速さや自由さもあって、事業エリアは県外、海外へと広がっています。事業の拡大に伴い、関連する経済団体や業種団体なども広がって沢山になります。その中でも地域を支える新潟商工会議所の役割は重要です。

人は暮らしているその地域が大好きです。そして、事業を通じて地域貢献を考えるものです。未加入の方はぜひ商工会議所に入会していただき、地域との繋がりの大切さを知って欲しいと思います。北前船や多くの偉人の歴史ある新潟市の発展

を、当商工会議所は支えてきています。

当委員会一同、本年も5000会員を目指して増強活動に努めますのでよろしく願います。

企業の活力強化に向けて



企業経営委員長  
佐藤 紳文

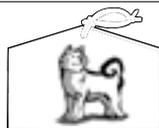
新年あけましておめでとうございませう。

企業経営委員会は、中小企業・小規模事業者の経営に直接影響する税制改正や中小企業政策について議論し、提言を取りまとめ、日本商工会議所を通じて政府をはじめ関係機関に要望しております。

昨年は、経営者の高齢化が進行する中小企業等の円滑な事業承継に向け、税制の抜本的改正等を求めるとともに、イノベーションの推進や雇用の維持・確保など企業が直面する経営課題に対する支援充実に向けて、地域の施策に反映させるよう政策の要望活動も実施しております。

地域経済は、人口問題に加え、グローバル化やAI等の技術革新など大きな変化に晒されています。地域経済を支える中小企業等の経営基盤を維持し、将来の成長が実現できるよう、引き

賀 正



新年紙上名刺交換  
(新潟商工会議所関係は会社名五十音順)

株式会社 双葉印刷 取締役会長 小山 浩 代表取締役 小山 彰	株式会社 フリーウェイツアー 代表取締役 小林 裕一	株式会社 文武堂 代表取締役 小島 和夫	北越紀州製紙株式会社 代表取締役 社長CEO 岸本 哲夫 取締役 新潟工場長 内山 公男	株式会社 北越農林 代表取締役 志田 常弘	北陸ガス株式会社 代表取締役 敦井 榮一 代表取締役 敦井 一友	北陸重機工業株式会社 取締役社長 霜鳥 雅徳	株式会社 ホテルオークラ新潟 代表取締役社長 総支配人 後藤 克洋
ホテル朱鷺メッセ株式会社 代表取締役 今井 繁明 代表取締役 栗山 幹文 代表取締役 栗山 敏昭	株式会社 本間組 取締役 本間 剛三 代表取締役 本間 達郎	丸運建設株式会社 代表取締役 佐藤 実 代表取締役 小田 等	株式会社 丸北 代表取締役社長 北川 栄資	株式会社 丸正産業 代表取締役社長 津吉 孝司	株式会社 マンパワー 代表取締役社長 早福 孝憲	水島鉄工株式会社 代表取締役 水島 雅晴 代表取締役 南 秀樹	三井生命保険株式会社 新潟支社長 北村 雄峰

続き要望活動等に積極的に取り組んでまいりますので、本年も何卒よろしくお願いいたします。

「オール新潟」での魅力発信



国際貿易委員長  
高橋 和郎

明けましておめでとうございます。

国際貿易委員会では新潟産品の輸出促進に当たり、「オール新潟」(ブランドディング)での魅力ある新潟県産品の共同輸出体制構築について意見交換を行ってまいりました。

新潟は、美味しい日本料理やお酒、豊かな自然や温泉にも恵まれ、外国人から見ても魅力一杯の地ですが、残念ながら海外における「新潟」の知名度は未だ高くなく、輸出に於いて実績のある県内企業が多い割に、「食の新潟」のイメージは十分に浸透していません。今後の国内外の展示会等の機会では、MAD E IN 新潟を一緒に使ってアピールし、新潟の魅力ある食が世界で広く認知され、各業界が連携を図ることに、インバウンドにも影響を与える事が出来る様な仕組み作り、皆様と知恵を絞っていきなりたいと思います。

新潟の活性化に向けて



まちづくり委員長  
阿部 正喜

新年あけましておめでとうございます。

日本を訪れる外国人客数は増え続け、その勢いは東京オリンピックパラリンピックの開催される2020年頃にピークを迎えると予想されます。現在はゴールデンルートと呼ばれる大都市圏に偏った外国人旅行者を新潟に呼び込むためには、熾烈な地域間・都市間競争に勝つて選ばなければならないでしょう。

そんな中、本年には新潟駅の高架化が第一次開業を迎え、長らく続いた新潟駅連続立体交差事業がいよいよ佳境を迎えます。古町地区では旧大和跡地の再開発事業が進んでおり、新潟の玄関や顔が生まれ変わる、まちづくりにとつてのターニングポイントに差し掛かっていると考えるのではないのでしょうか。最近よく申し上げておりますのは「奈良の鹿(ならのしか)」。つまり「新潟ならでは」、「新潟でしか」発揮しえない魅力やコンテンツ、取組を磨き上げることで、新潟が選ばれることに繋がると考えています。今年も、行政をはじめ様々な皆

様と深く連携し、新潟市がより活性化できるよう、積極的に活動を展開してまいります。本年も何卒よろしくお願いいたします。

委員会活動に向けて



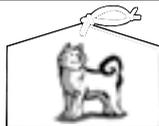
政策委員長  
曾山 稔

明けましておめでとうございます。

当委員会の基本コンセプトである「新潟に人を呼び込み、産業・社会における人・物・金の交流を活発にし、地域の活性化」を念頭に昨年度は「農業を活用した地域の活性化」を取りまとめ、新潟市へ提言を行いました。

今年度は「新潟市の都市未来図(仮称)」をテーマに、引き続き「交流人口から定住人口」へ繋がる、具体的「な提言を取りまとめたいと考えております。新潟市が日本海側の政令指定都市になって10年。日本海側最大の拠点都市としての都市機能も大きく変貌を遂げようとしています。未来の新潟市の「あるべき姿」を模索しながら検討を進めてまいりたいと考えております。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

賀 正



新年紙上名刺交換

(新潟商工会議所関係は会社名五十音順)

<p>三菱ガス化学株式会社新潟工場 執行役員 工場長 <b>高木 俊哉</b></p>	<p>三菱商事株式会社 新潟支店長 <b>高橋 和郎</b></p>	<p>株式会社 皆川組 代表取締役社長 <b>皆川 義雄</b></p>	<p>株式会社 村尾技建 代表取締役 会長 代表取締役 社長 <b>村尾 建治</b> <b>村尾 治祐</b></p>	<p>八木税務経理事務所 税理士 <b>八木 良三</b> 税理士 <b>八木 慶太</b></p>	<p>株式会社 ユアテック新潟支社 常務取締役支社長 <b>中山 哲克</b></p>	<p>株式会社 菱電社 代表取締役社長 <b>岡村 健吉</b></p>	<p>株式会社 リンコーコーポレーション 取締役社長 <b>南波 秀憲</b></p>
<p>新潟商工会議所</p> <p>会 頭 <b>和田 晋弥</b> 副会頭 <b>福田 勝之</b> 副会頭 <b>南波 秀憲</b> 副会頭 <b>霜鳥 雅徳</b> 副会頭 <b>廣田 幹人</b> 副会頭 <b>宮沢 啓嗣</b> 専務理事 <b>早福 弘</b></p>							